

武蔵野市の自殺総合対策について

1. 武蔵野市の自殺者の現況

本市の令和3年の自殺者数は17人で、前年比15人減、過去5年間で2番目に少ない人数となった（平成29年28人、平成30年28人、令和元年12人、令和2年32人）。

令和3年：月別自殺者数（確定値）

	自殺者数（人）												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
全国	1,755	1,700	2,012	1,854	1,865	1,859	1,729	1,735	1,660	1,667	1,604	1,567	21,007
東京都	188	192	193	194	195	217	189	197	168	177	195	172	2,277
武蔵野市	0	3	0	2	2	2	3	1	0	0	3	1	17

【出典】厚生労働省自殺対策推進室：自殺の統計：地域における自殺の基礎資料（※発見日・住居地）

※国の状況

令和3年の全国の自殺者数（確定値）が21,007人となり、減少に転じた（平成29年：21,321人、平成30年：20,840人、令和元年：20,169人、令和2年：21,081人）。

2. 武蔵野市自殺総合対策計画（2019～2024年）の推進

令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、こころの健康づくり庁内連携会議を延期し、各課に対して、計画に係る各課事業の取組状況及び新型コロナウイルス感染症の影響による変更点等の調査を実施し、11月に見守り・孤立防止ネットワーク連絡協議会（書面開催）にて報告を行ったうえで、地域共生社会推進会議にて評価等を受けた。

市ホームページにおいて「生きることの支援」に関する情報（相談窓口・支援等）の集約化を図ったので、今後、ICTの活用等により効果的な支援を推進していく。

<計画の施策ごとの主な事業の進捗状況（抜粋）>

● 自殺対策を支える人材の育成

職員向け研修として、令和3年度は11月29日に「こころといのちの基礎研修」オンライン併用にて開催し、97名（前年比33名増）の参加があった。また、外部機関が実施するスキルアップ研修に職員2名が参加した。

市民向け講座として、9月29日～10月31日に『コロナ禍での自殺者増加の背景について～私たち住民にもできること～』、3月1日～4月30日に『自殺対策講座～あなたが、大切な人にできること～』というテーマ講座をWEBで動画配信した。

● 相談支援事業の充実

（市民こころの健康支援事業（市民こころの健康相談室）の状況）

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、メンタルヘルスの悩みを抱える市民の増加が予想されたため、令和2年5月26日より毎週火曜日を追加実施しており、件数は増加。令和元年度は162件、令和2年度は262件、令和3年度258件（うちコロナ関連の件数は23件）。

※他、母子、教育、高齢関連の相談事業等においてもコロナ対策を実施したうえで相談体制を整えている。通常の相談に加え、コロナ関連の相談も入ってきている。

● 生きやすさを育み寄り添う支援

市民課の協力を得て死亡届を提出された方にグリーフケアの支援に関する情報提供を実施している。

● 市民への周知・啓発

市ホームページ上の自殺対策関連の情報を整理・拡充し、リニューアル更新を図った。